

本コミュニケーション・オン・エンゲージメントが対象とする期間

開始日：2019年8月16日      終了日：2021年8月16日

## 継続的支持に関する声明

2021年8月5日

ステークホルダーの皆様へ

私は、学校法人大阪夕陽丘学園が人権、労働、環境、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト10原則を支持することをここに確認し、ここに表明いたします。これは、国連グローバル・コンパクトに対する当学園のコミュニケーション・オン・エンゲージメントです。皆様のフィードバックをお待ちしています。

このコミュニケーション・オン・エンゲージメントでは、当学園をはじめとする各種組織に対して提案された国連グローバル・コンパクトおよびその原則を支持するために当学園が行った取り組みについて説明しています。

また、当学園の主要なコミュニケーション媒体を通じて、当学園の取り組みを積極的にステークホルダーの皆様公表してきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

学校法人大阪夕陽丘学園 理事長

山 田 清

## 取り組み状況

取り組みの例として以下のものがあります。

### 学校法人大阪夕陽丘学園の取組

2019年、学園創立80周年に当たり第2期経営5ヵ年計画を作成し、その中に学園の創始者でクリスチャン実業家「里見純吉」（株式会社大丸の二代目社長、社会教育や女性の地位向上に尽力）が唱えた建学の精神「愛と真実」を受け継ぎ、実践する一つの形として持続可能な社会の実現を目指す UNGC（国連グローバル・コンパクト）に誓約・署名を行い、GCNJ（グローバルコンパクトネットワーク ジャパン）の会員となる（8月）。これを機に、UNGC および GCNJ の主要活動である SDGs に取り組む。

学園全体としては SDGs の 17 の目標のうち、教育機関としての「目標4 質の高い教育をみんなに」や、里見純吉の業績や建学の精神に繋がる「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」および「目標16 平和と公正をすべての人に」の活動を目指している。この度、下記高等学校の制服の刷新にあたり、その趣旨に則り、「目標12 つくる責任つかう責任」も加えることとした。

また、「目標13 気候変動に具体的な対策を」への取り組みとして、施設・設備に関して以下の対策を行っている。省エネルギー・省資源対策では、地球環境保全の配慮として、電気関係では2021年3月より全館照明器具のLED化を実施し、照明電力量の効率化及び健康障害を招くとされる照明用の水銀使用器具の全廃、また、蛍光灯・白熱電球と比較して寿命が長いことから、廃棄物の排出量削減などにも寄与している。空調関係では、2020年7月から最新式のガス吸収式冷暖房機を主体とする空調運転を実施するなか、インバータ制御や省エネモード運転を駆使すると共に、2次冷温水ポンプのこまめな運転操作により冷暖房機器の運転時間を抑制する方策で電力・ガスの使用量の効率化を推進している。水道関係では、2020年6月に旧式トイレを改修し最新の節水型便器の導入や蛇口を自動水栓に更新するなど節水効果を高めている。廃棄物の削減では、2019年10月より事業系一般廃棄物と産業廃棄物に区分ののち、リサイクル率向上を念頭に各廃棄物の分別の細分化を徹底し、資源の再利用に向けた取り組みと意識向上の啓発を図りゴミの排出量の減量に努めている。

### 大阪夕陽丘学園高等学校の生徒への啓発活動と実践活動

- ・2019年9月、学園80周年記念行事の中で、海の環境問題に取り組む「さかなくん」を招き、SDGs の講演により学ぶ。
- ・2019年度の1年生から、「総合的な探究の時間」の授業でSDGsを取り上げ、SDGsを紹介するポスター作りや、学校や普段の生活の中で目標達成のために取り組めることを目標ごとにまとめてポスターにするなどの活動をグループワークで行ってきた。
- ・2020年度はそれぞれの目標を理解した上で、「在校生にもっとSDGsが浸透するような、独創的な企画を提案」や「高校生徒と地元企業とで共同で取り組む『SDGsを理解し笑顔になる新サービス・新商品』を企画提案」などをテーマに、自分たちが当事者となって課題解決をしていけるような取り

組みを実践している。

また、若手の環境活動家 露木志奈さんを招いて、「気候変動について」の講演会を開催した（コロナ禍のためオンラインでの開催）。

- ・2021年度は、全学年で探究の授業展開が可能となったので、1年生はSDGsを知るための導入を取り上げ、2年生は企業との共同でのアイデア出しや問題解決によるパートナーシップの養成、3年生は経産省のSTEAMライブラリーからテーマを取り上げ、身近な題材から世界の問題を考え、情報集めや思考力を養う取り組み等を通して、様々な課題やその解決へのプロセスがSDGsに繋がっていることを学んでいる。
- ・2021年度の新入生より、新しい環境配慮型制服（着用済みの制服を回収しリサイクル）を採用し、SDGsの理念に合致した活動の一環としている。

### 大阪夕陽丘学園短期大学の学生への啓発活動と実践活動

- ・2020年度の1年生の授業「夕陽学」（自校教育の一環の授業、必修科目）の1講座としてSDGsを取り上げ、学びと啓発から取り組み開始。
- ・2021年度も同様に1年生を対象に授業を展開し、啓発を受けた学生はSDGsの17の目標から個々人が自分の目標を取り上げ、個人レベルで取り組みを始める。
- ・2018年度より包括連携協定を結び、地域振興や教育連携に取り組んでいる志摩市（2018年「SDGs未来都市」に選定）より、2020年リニューアルオープンした志摩市立図書館の多目的ホールステージの緞帳制作の依頼が短期大学キャリア創造学科にあった。  
SDGsの発想を活かし、パッチワークで制作する緞帳の生地には、市民の寄贈布、回収資源ごみによるリサイクル布、海洋廃棄プラスチック由来の布などを一部使用し、市民の皆さんと短期大学生が協働して制作した（2021年2月完成）。

### 大阪夕陽丘学園教職員への啓発活動

- ・2020年2月、本学園及び短大教職員を対象として、坂本りっか氏（経済産業省 近畿経済産業局通商部 国際事業課）を講師とした「SDGsをめぐる動向と関西SDGs貢献チャレンジ～大阪夕陽丘学園短期大学におけるSDGs貢献を考えてみる～」の研修会を実施。

## 成果の測定

「取り組み状況」の中で示した、大阪夕陽丘学園全体、短期大学及び高等学校における活動に、以下の成果を見ることが出来る。

- ・毎年、約 500 名の短期大学生と約 1300 名の高校生が、授業等を通して UNGC 及び SDGs について学び、啓発されている。
- ・また、そのうちの一定の割合の家族が UNGC や SDGs に啓発されている。
- ・高等学校では、探究の授業を通して SDGs 関連で企業とのパートナーシップを結んでいる。
- ・高等学校では、2021 年度の新入生から環境配慮型制服 (SDGs 制服) を採用し、マスコミにも取り上げられ、SDGs の概念を広めている。
- ・短期大学では、「SDGs 未来都市」の志摩市とパートナーシップを結び、市民との共同作業を行った。
- ・学園全体の施設・設備の取り組みにおいて、節電、節水、産業廃棄物の減量に繋がった。

以上